



自覚と責任をもって
行動せよ
意気溢れるまちを
目指して

JCNEWS

May. 2022 JCI TAJIMI

【次代を担う人財育成事業Ⅰを終えて】

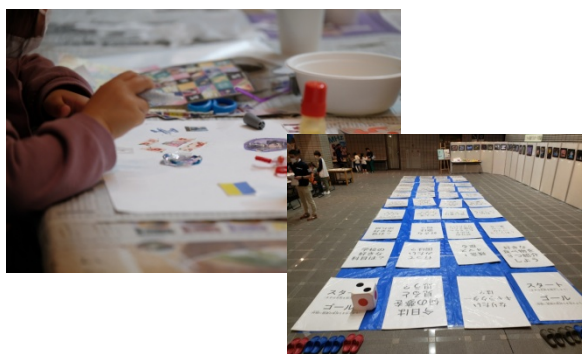
次代を担う人財育成委員会 副委員長 寺島大貴君

4月9日、10日に行われました次代を担う人財育成事業Ⅰ（陶器まつりへの参加）にご協力いただきましたメンバーの皆様、誠にありがとうございました。今回の陶器まつりの事業は私にとっても初めて参加した事業でした。

私自身、陶器まつりへ行ったことがなく、事業構築段階では一体どうなるのだろうと不安ばかりでした。委員会メンバーとああでもないこうでもないという試行錯誤をしながら当日を迎え、初日の朝に事業対象者となる子どもの姿がほとんど見当たらなかった時には、若尾委員長と絶望しておりました。しかし、結果として想定以上のご参加をいただき事業成功へと導けたと思います。それもメンバー皆様のご協力があったからこそだと思っています。

また、良くも悪くも大人になった私としましては正直な話、コラージュ作りや人間すごろくを子ども達が楽しんでくれるのかと少し疑問でした。しかし、実際には楽しかった、もう一回やりたいという子ども達の姿を見て、これがJCの活動の醍醐味なのかなと感動いたしました。

当委員会として夏には次代を担う人財育成事業Ⅱが控えています。大成功へと導けるよう邁進して参りますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



【事業開催案内】

2022年JCI ASPAC堺高石大会

5/26～5/29の4日間、堺市、オンラインのハイブリッド形式にてASPAC堺高石大会が開催されます。ASPACとはアジアパシフィックエリアコンファレンスの略称で、JCIの4つのエリアの中で日本が所属するエリアB（アジア・太平洋地域）で開催される会議のことです。

総会の他に各種セミナーも開催されますので、興味のある方はぜひご参加をお願いいたします。



【事業開催案内】

4JCゴルフ・サッカー大会

6/18・6/19の2日間、伊賀市にて4JCゴルフ・サッカー大会が開催されます。事業内容といたしましては、18日にゴルフ大会と懇親会、19日にサッカー大会という日程です。

4JCのこういった交流の機会はまさに3年ぶりとなります。他LOMとの交流による信頼関係の構築は今後、JC活動をはじめとした様々な活動にきっと有益なものとなると思いますので、ぜひ皆様ご参加のほどよろしくお願い申し上げます。

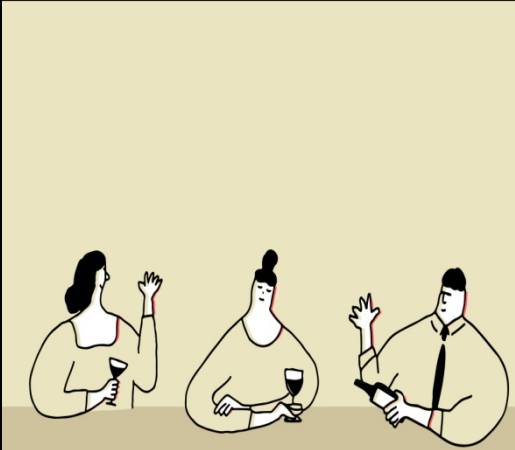


	会員紹介 入会 9 年目 鈴木亜紀子君 (理事長)	
	勤務先：エール行政書士事務所 趣味：温泉	年齢：38 歳 特技：整理整頓
	メッセージ： 大学時代は応援部。運動神経は皆無なのに、根性だけは体育会系。仕事もJCもプライベートも、「ムリ」「仕方ない」なんて言いません。娘の一番近くにいる大人として、恰好いい大人の背中を見せて育てたい。	

	会員紹介 入会 8 年目 三和義幸君 (副理事長)	
	勤務先：(学)溪泉学園 趣味：登山・キャンプ・読書	年齢：34 歳 特技：動画像処理
	メッセージ： 入会 8 年目になりました。活動への想いは「所詮JC、されどJC」。その時その時の大切なものと考えながら、ちょっと無理するくらいで動いています。登山・キャンプ好きですが、最近逃げきれずゴルフを始めました。趣味と言えるまで頑張ります。	

今後のスケジュール			
6 月 1 日 (水)	6 月理事会議	於	産業文化センター
6 月 6 日 (月)	6 月例会	於	笠原中央公民館
6 月 18 日 (土) ～19 日 (日)	4 J C ゴルフ・サッカー大会	於	伊賀市

各委員会からのお知らせ	
総務・渉外委員会	対外LOMとの交流はまたとない機会です。ぜひ4 J C ゴルフ・サッカー大会へのご参加よろしくお願いします！ 委員長 佐藤裕基
時代が求めるリーダー育成委員会	6 月 6 日 (月) の例会において時代が求めるリーダー育成事業Ⅰが行われます。ご出席よろしくお願いします。委員長 水野恵介
次代を担う人財育成委員会	次代を担う人財育成事業Ⅰが無事成功に終わりました。お力添えありがとうございました。委員長 若尾将成

	総務・渉外委員会コラム④ ～JCの懇親会の意味とは～	
	前回のコラムでは、理事会についてお話しましたが、理事会の後には基本的に懇親会の場が設けられます。今回は、JCにおける懇親会の意味についてお話ししたいと思います。 懇親会はその名の通りお互いに打ち解けて友情を深めるための会ですが、その他にも1.会議の内容の細かい部分を聞く事で会議の質を上げる、2.答弁のイメージを事前に広く共有しておく事で急な変更があった際の混乱を防ぐ、3.会議の時間を有効活用するために課題となっている部分以外の内容を詰めておくなどといった意味もあります。 会議は決定の場であり、熱い議論は当然あるべきですが、会議の時間は有限です。こういった会議と会議の「間」の時間も有効活用することで、会議中の議論がスムーズに行き、より有意義な会議にできるのかもしれない。	